

4 本時の学習

(1) 目標 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 前時を振り返って、1, 2番を歌う。</p> <p>② 「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。</p> <p>◇ 1番の歌詞と比べて、悲しい言葉を使っている。</p>	<p>○ 前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようにする。</p> <p>めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。</p> <p>(「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○ 1, 2番の歌詞と対比して、3番の歌詞の特徴を捉えられるようにする。</p>
展		<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 3番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。</p> <p>② 個人で、強弱などの表現の工夫について考える。</p> <p>◇ 「春の 夕暮れ」は、夕暮れの雰囲気を出したいので、ふんわりとfで歌い「ひとりさびしく」のmp</p>	<p>○ 前時までのワークシート等を振り返り、3番の歌詞に込められた思いを感じながら、まず自分の考えを持てるようにする。</p> <p><b>【具体的評価規準】思①</b> 楽曲の内容から感じ取ったイメージし、思いや意図をもって表現の工夫(方法：ワークシートの記述)</p> <p><b>【到達していない生徒(グループ)へ】</b> ○ 3番の雰囲気について対話しながら工夫ができるようにする。</p> <p>○ 強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌3番の歌詞にふさわしい表現について対しい表現を求めることができるようにす</p>
終末	10分	<p>3 まとめる。</p> <p>⑤ 発表しながら意見を広める。 1, 2番との対比についても、発表の中から適宜行う。</p>	<p>○ 生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p> <p><b>【まとめ】 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱 など。</b></p> <p>4 学習したことを振り返る。 ・ 1番から3番まで歌う。</p>

対話と学習の中心  
と対話による学びの  
準備に及ぶ大変場  
の認識が深まった。

・ 班での対話的活動が  
積極的に進んでいた。  
少数でもしり歌う学習  
態度そのものが素晴らしい。

・ フーズで考えながら  
歌詞の内容についてしり  
考え、表現の仕方も工夫  
することができた。  
(曲の理解が深まった。)

・ 個人・班・ワークシート  
ワークシートが自分の思いや  
考えを伝えることのできて  
いた。

・ 素直で伸びやかな美しい  
響きの歌声であった。  
・ 3年間の積み重ねの成果や  
日頃の子どもの心のつながりが  
感じられる歌声だった。

グループで思いや意図を出し  
合い、歌詞の工夫について  
も話し合っていた。

・ (4人組)の思いや  
意図を出し合っていた。  
・ 発表する子へ  
話を聞く態度が  
自然にできていた。

・ 歌の響きから表現の工夫  
ができていた。  
・ 7人組で歌っている。

7人組の男女ペアが良い  
会話のやり取りで、意図が  
わかってきた。

・ 最初の頃の曲の捉え方から変化してき  
て、変わった部分を伝える。